

【本校の教育目標】

郷土に根ざした

健全な児童の育成

【めざす学校像】

みんなの笑顔があふれる

周布小学校

～②パーク②ル～



浜田市立周布小学校
浜田市周布町1 63-3
電話 0855-27-1006
FAX 0855-27-4724



令和8年7月号 文責：大達高弘

1学期の終わりにあたり

1年生が大切に育てた「あさがお」がベランダで
きれいな花を咲かせました。毎朝、登校後、一生懸命に水やりをし、たっぷりの愛情を注いだ成果が、
このきれいな花です。あさがおの成長とともに、1
年生のこの1学期での大きな成長を感じています。



4月8日にスタートした1学期が、明日の終業式をもって終了
します。234人の子どもたちと過ごした69日（1年生は68日）
は、本当に充実していました。学校生活の多くの場面で、周布っ子
の成長やがんばりを感じることができました。合言葉【スパークフル】
の実現を目指し、学校全体が「挑戦」「協働」「創造」を意識し
ながら前進したように思います。毎日をいきいきと頑張りを続けた
子どもたち、そしてその頑張りを見守り、支え、応援し続けてくだ
さった保護者・地域の皆様に改めて感謝いたします。



写真をご覧ください。これは、6月末に、1年生が6年生に贈っ
たお礼の手紙と、それを手渡している様子を写したものです。入学
してから学校生活の様々な場面でお世話になった6年生に対する
感謝の気持ちを、覚えてたのひらがなとかわいい絵で表現しまし
た。そして、この日、代表児童がドキドキしながら一生懸命にお礼
を言って6年生に手渡したのです。

私は、この手紙を受け取った6年生の気持ちを考えました。きっ
と6年生は、自己有用感を感じることができたと思うのです。自己
有用感とは、【誰かの助けになった、役に立った】【自分は集団に貢
献できている】と他者や集団の中で実感する感覚です。そして、こ
の自己有用感の積み重ねが、最終的には、【自分にもいいところがある】
【自分はかけがえのない存在だ】と自分を受け入れる感覚、
すなわち自己肯定感を高める土台となります。

学校生活を見ると、子どもが自分自身をあきらめてしまっている
場面がよくあります。「どうせ自分なんて…」「無理だし」とすぐ
に投げ出し、自分自身を最後まで信じてやり抜くことをやめてしま
うのです。私はそのたびに悲しい気持ちになります。「どうしても
もっと自分に自信をもてないのだろう」「なぜ、最後まで自分を信
じ続けられないのだろう」と思います。そして、そのたびに、何とかし
て子どもたちの自己肯定感を高めたいと考えます。

今回の1年生からの心温まるプレゼント。こういう積み重ねを
これからも学校で大切にしていきたいと思います。どうか、この夏
休み、子どもたちにお手伝いや役割を与えていただき、そしてその
頑張りに対する感謝や労いの言葉をかけてやってください。それ
が、自己有用感を高め、さらには自己肯定感につながりますから…

この夏休みを利用してたくさんの体験をし、心も体もさらに成
長してほしいと願っています。保護者・地域の皆様方、どうか温か
い見守りをよろしくお願いします。

写真で振り返る【周布っ子の1学期】

234名の周布っ子は、この1学期、毎日を明るく、元気に、
そして何事にも一生懸命に取り組みました。【スパークフル】を
合言葉に、挑戦・協働・創造を大切にしながら、一人一人が自分
のもっているよさを伸ばし、成長しました。その成長の源になっ
たものは、周布っ子の素直さと向上心、そして、子どもたちをい
つも温かく見守ってくださった保護者・地域の皆様の愛情のおか
げだと感じています。



入学式：希望にあふれた1年生



陸上大会：自分の限界に挑戦



1年生：インタビューをしよう



2年生：野菜の苗植え



3年生：浜田漁港見学



4年生：浄水場見学



5年生：宿泊研修



6年生：修学旅行



マラソン記録会：自分に勝つ



フルスリータイム：絆を深める



茶っ友隊：地域の方と一緒に遊ぶ



クラブ活動：好きなことを極める

頑張る姿は輝いていました！！

初めてのフルスリータイム！



6月30日（火）、初めてのフルスリータイムを行いました。フルスリータイムとは、今年度の児童会のテーマ【フルスリー】（パワフル・カラフル・ハートフルの3つのフルを集めたもの）の実現を目指した、なかよし班遊びのことです。初めての試みでしたが、各班の6年生が中心となって、遊びの内容や実施方法を決め、自分たちの手で楽しい時間を創りました。

企画から運営を担ってくれた6年生のおかげで、初めてのフルスリータイムは大成功でした。終わった後、1年生が「明日もフルスリータイムしますか？」「すごく楽しかったから、またやりたいです」と言っていたのが印象的でした。

学年の枠、男女の枠を超え、こうして全校で絆：つながりをつくっていくことで、【フルスリー】に近づいていけると考えます。周布小学校は、子どもたちと一緒に新たな試みを創造し、挑戦しながら、みんなの笑顔があふれる学校を目指していきます。

充実した宿泊研修（5年生）

7月2日・3日の2日間、5年生が江津市にある島根県立少年自然の家で宿泊研修を行いました。5年生は、目標【再発見の2日間！ ～自分と友達の新たな一面を見つけよう！～】を意識し、自分たちの手で充実した素敵な2日間を創りあげました。

少年自然の家には、【規律・友愛・協同・奉仕】という4つの心の育成を目指したプログラムが多数あるのですが、今回の宿泊研修では、GGG、火起こし体験、やぐらづくり、光の芸術、炊飯活動（カレー作り）、冒険の森の活動に取り組みました。家を離れ、仲間と過ごす中で、様々な体験を通して絆を深めました。

この2日間の学びや成果を今後の学校生活に生かし、周布小学校の頼もしいサブリーダーとして活躍してくれることと思います。



ふれあいハートフル集会

7月7日（火）、ふれあいハートフル集会が行われました。この集会は、一人一人が大切にされる周布小学校、みんなが笑顔で過ごすことができる周布小学校を目指して、毎年行われる集会です。今年度は、集会の名前に新たに【ハートフル】という言葉が加えられたのですが、ほんとに優しさ・思いやりいっぱいの集会でした。特にお互いの発表を聞き合ったり、拍手を送り合ったりする姿からは、他者を大切にしようという気持ちを感じられ、体育館が温かい雰囲気になりました。

子どもたちの心の面での成長を感じることができる素敵な集会になりました。



西部ブロック合同学習

（すくすく・のびのび・にこにこ・さんさん学級）

7月14日（火）、今年度1回目の西部ブロック合同学習がありました。浜田市西部の6つの小学校の特別支援学級と浜田養護学校の子どもたちが集まり、様々な活動を通して交流を深めました。

今年度は、三隅小学校とアクアみすみを会場として、学校紹介クイズや水遊び、レクリエーションをして楽しみました。初めのうちはぎこちなくかわり合っていた子どもたちが、時間の経過とともに、あっという間に打ち解け、言葉と笑顔を交わしました。その様子を見ながら、子どもたちの柔軟さ、適応能力の高さを改めて感じました。私は、昨年度もこの合同学習に同行したのですが、昨年度に比べ、子どもたち一人一人の成長を感じました。特に、周囲の様子を見ながら、その状況に上手に合わせながら行動することができる姿が印象に残りました。子どもって、すごいです！！



【合同学習後の感想より ～一部抜粋～】

学校紹介クイズでは、はっきりゆっくり大きな声で言うことを意識しました。他の学校の友達も元気に言っていたので「いいなあ」と思いました。プール遊びでは、いろいろな技や勝負をしたのが、とても楽しかったです。ジェスチャーゲームでは、チームで協力して一番になれました。新しい友達とも仲よくできてよかったです。

P T A 奉仕作業のお手伝い募集のお知らせ

8月23日（日）にP T A 奉仕作業があります。この奉仕作業は毎年、保護者・教職員で行ってきましたが、昨年度から、コミュニティ・スクールの活動の一環として、地域の方々にもお手伝いいただいています。今年度も一人でも多くの方々が顔を合わせ、つながり合う機会になればという思いから、ご案内いたします。お時間がありましたら、周布っ子のためにご協力をお願いいたします。ご来校、お待ちしております。

時 間：7：30～9：00 ※雨天決行

内 容：校舎周辺の樹木の剪定、窓ふき、トイレ掃除など

その他：ご協力いただける場合は、学校（教頭）までご連絡ください。 連絡先 [TEL:27-1006](tel:27-1006)

9月の主な行事

- 1日（火）2学期始業式 給食開始
- 2日（水）校外班会②
- 3日（木）読み聞かせ
- 4日（金）P T A 総務委員会
- 8日（火）S C 来校 茶っ友隊（高学年）
- 9日（水）委員会
- 10日（木）茶っ友隊（低学年） P T A 評議員会
- 16日（水）茶っ友隊（中学年）
- 17日（木）読み聞かせ
- 29日（火）S C 来校
- 30日（水）委員会

★あくまでも予定ですので、変更になることもあります。

